

大田区都市計画マスタープラン普及版（案）について

1 普及版作成の目的

令和4年3月改定の大田区都市計画マスタープラン（以下「マスタープラン」という。）では、「様々な主体が活躍する都市づくり」を掲げ、区民を始め事業者などとの協働の都市づくりを進めていくことを目指している。

区民の方等と都市づくりの将来都市像を共有し、円滑にまちづくりを進めていくために、マスタープランを分かりやすく解説した普及版を作成する。

2 普及版（案）の内容

別紙のとおり

3 今後のスケジュール

- ・令和4年9月末

大田区都市計画マスタープラン普及版作成・ホームページ掲載

- ・令和4年10月以降

地域への説明等

(案)

大田区ミライの都市づくり

都市計画マスタープラン

ちよこつと
解説版

都市計画ってなんだろう？



知りたい気持ちはあるけど



なんだか難しそう？



あなたの声まちづくりの原動力になります

大田区のミライを考えよう

はじめに

「都市計画」や「都市づくり」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

皆さんが生活の中で目にする道路・建物・公園などの風景には、**まちをつくるためのルール**である「都市計画」が大きく関わっています。

この冊子では、大田区の都市づくりの憲法ともいえる「大田区都市計画マスタープラン」の一部を **ちよこつと** 解説していきます。皆さんに少しでも興味を持っていただき、一緒に大田区の都市づくりについて考え、取り組んでいきましょう。

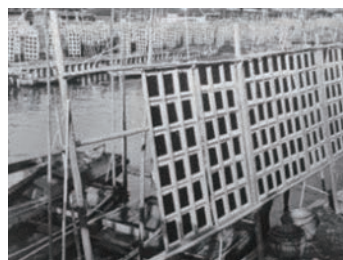
1 現在の大田区ができるまで

大田区の年表

- ～江戸 ● 1611年 六郷用水開削事業完了
- 明治 ● 1876年 大森駅開業
- 1904年 蒲田駅開業
- 大正 ● 1923年 関東大震災
- 1945年 東京大空襲
- 昭和 ● 1947年 **大田区誕生**（大森区と蒲田区が合併）
- 1962年 蒲田陸橋開通
- 1964年 東京オリンピック
- 1998年 大田区役所新庁舎開庁
京浜急行羽田空港駅開業
- 平成 ● 2011年 東日本大震災
- 2012年 京浜急行電鉄本線・空港線
連続立体交差事業全線高架化
- 令和 ● 2020年 「令和島」の誕生
羽田イノベーションシティまち開き
- 2021年 東京オリンピック・パラリンピック



大森駅東口



海苔干しの様子
(昭和10~30年代)



蒲田陸橋開通
(昭和37年)



大田区役所新庁舎開庁式
(平成10年)

2 これまでの都市づくりの成果

大田区が進めてきた近年の都市づくりの成果を、一部ご紹介します！

平成
24年

京浜急行電鉄の連続
立体交差事業が完了



平成
29年

糀谷駅前地区の
再開発事業が完了



令和
2年

羽田イノベーション
シティオープン



令和
2年

新たな町名
「令和島」の誕生



令和
3年

田園調布せせらぎ館
オープン



令和
3年

池上駅駅舎・駅ビル
完成



3 これからの都市づくり

ちよこつと
解説！

※大田区都市計画マスタープラン
P.38~39を要約した内容です。

長期的な視点で都市づくりを進めていくための、「将来都市像」と、将来都市像の実現に向けた「都市づくりの4つのテーマ」を、都市計画マスタープランで設定しました。

将来都市像 《目標年次》2040年代

「暮らす・働く・訪れる」大田区らしい多彩な景色が人々を惹きつける



テーマ A

にぎわいと交流を生む国際都市の発展



テーマ B

地域力を育む暮らしやすい場の提供



テーマ C

安全・安心な生活の実現



テーマ D

地球に優しい環境の創出

各テーマの「これからの都市づくりのイメージ」を中面で解説していきます！

4 これからの都市づくりのイメージ

ちよこつと
解説!

※大田区都市計
P.40~47を

テーマ A 「にぎわいと交流を生む国際都市の発展」



<例：にぎわいのある駅前通り>

- 持続的成長を支える魅力ある拠点 -

大田区らしい「暮らす、働く、訪れる」などさまざまな活動が展開され、人々の自由自在な移動と交流が確保されるなど、国際都市としてふさわしいにぎわいや機能を備えた拠点づくり、大田区の産業を世界に発信する拠点づくりが進んでいます。

- 都市の発展を牽引する産業環境 -

高い付加価値を産み出すものづくり産業の集積地として、活力ある事業者等が産業をけん引し、国内・国外との活発なビジネス交流が行われています。

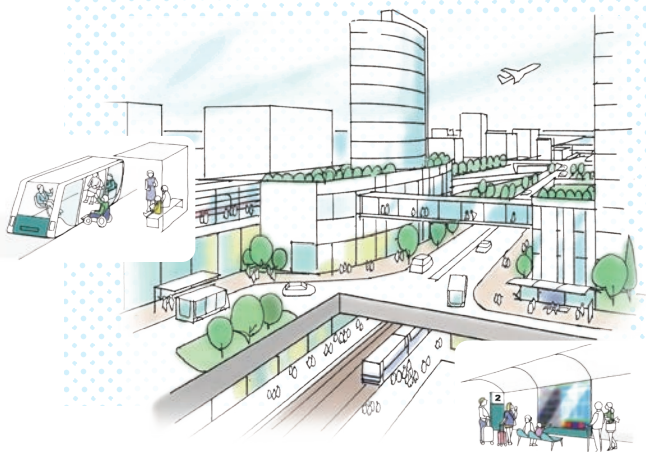


<例：町工場とのビジネスマッチング>

区民の声

みんなのアイデアを町工場に

ものづくりをアピール



<例：アクセシビリティの高い中心市街地>

- 来街者も円滑に移動できる交通環境 -

新空港線や都市計画道路などの交通ネットワークの整備により、蒲田、大森、羽田空港及び周辺地区、臨海部が一体となり、連携してつながりを活かすことで、東京圏の広域的な連携の一翼を担っています。

住んでいる人もはじめて来た人も
だれでもどこでも行けるまち

自然と足が進むオオタ 2040

区民の声

テーマ B 「地域力を育む暮らしやすい場の提供」

- 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境 -



<例：多世代型シェアハウス>

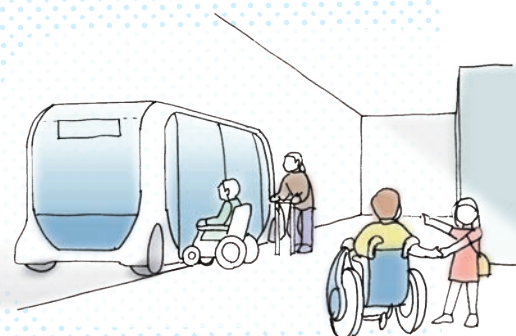
暮らしやすさや都市の景観をさらに磨き上げることで、高齢者や子ども、障がい者、外国人など、すべての人々がライフスタイルや価値観の多様化に応じて、住み、働き、憩う場を選択できる都市となっています。

様々な人々と気軽に交流できる街

区民の声

- 様々な移動手段を選択できる地域交通 -

ユニバーサルデザインに配慮した都市機能やユニバーサルデザインの考え方が浸透し、だれもが利用しやすい公共施設等が効果的・効率的に配置され、快適に過ごすことのできるまちが形成されています。



<例：バリアフリー化された公共交通>

区民の声

多世代にとってやさしい交通のまち

コラム 大田区の魅力的な景観



田園調布駅周辺

東急東横線・目黒線の地下化に伴い駅舎などを計画・復元しました



多摩川

大田区を縁取るように緑豊かで開放的な空間が広がっています



六郷用水復元水路

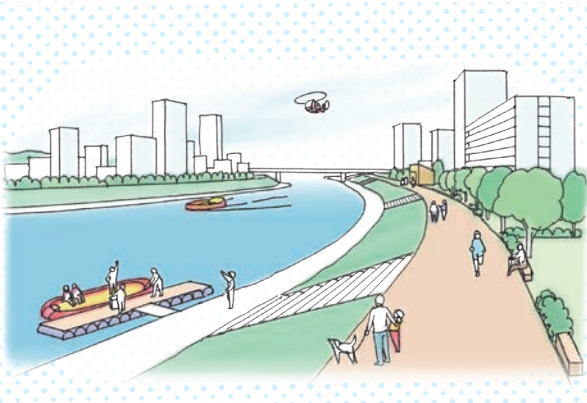
旧六郷用水を、遊歩道と一体となった親水水路として復元整備しました



勝海舟記念館

旧清明文庫を活用した全国初となる勝海舟の記念館です

テーマC「安全・安心な生活の実現」



<例：水害でも安心な市街地>

- 強靱で回復しやすい減災都市 -

首都直下地震や気候変動の影響により激甚化する風水害に加え、感染症等の新たなリスクへの対応や、快適で安心な日常生活を送ることができる都市環境の整備により、安全・安心な都市として多くの人を惹きつけています。

- 様々な活動に支えられた安全・安心な都市 -

地域の防災や防犯に関するまちづくり活動がさらに充実し、区民と行政、事業者の連携が進むことで地域力が向上し、人々の生活を支えています。

多世代にやさしい安心・安全のまち

防災に強いまちづくり

区民の声



<例：平時からのリスクコミュニケーション>



<例：空地をポケットパークに転換>

- オープンスペースを活かした防災都市 -

公園や緑地といったオープンスペース、多摩川や呑川など、地域の資源や公共空間が最大限活用され、複合災害にも柔軟に対応できる都市が形成されています。

多くの世代で楽しめる災害時にも集まれる多目的な公園があるまち

区民の声

テーマD「地球に優しい環境の創出」



<例：地域の憩いの散策路>

水と緑のネットワークによる 安らぎのある都市

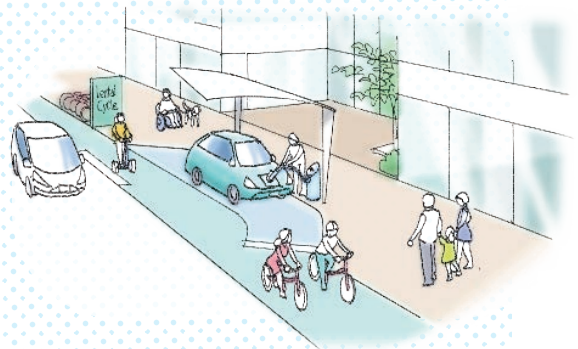
公園や河川などの環境資源が最大限活用され、誰もが身近な場所で水や緑にふれあい、心地よく親しむことができる都市になっています。

多世代のコミュニティを通して
今あるゆとりある緑空間を維持できる街

区民の声

持続可能な社会の基盤となる 脱炭素化が進む都市

環境性能の高い住宅や木材を利用した建築物が立ち並び、環境負荷の少ない交通手段の導入等が図られるとともに、再生可能エネルギーの利活用が推進された都市が形成されています。



<例：電気自動車の普及に対応>

コラム まちづくり座談会

都市計画マスタープランの改定にあたり、区民が日頃感じている区への想いや可能性について、グループ毎に集まって、テーマごとに議論する場を「まちづくり座談会」として開催しました。



区内在勤者



シニア



障がい者



大学生

ここで解説している内容の他に、「大田区都市計画マスタープラン」には、部門ごとの方針を示した「部門別方針」や、地域ごとの方針を示した「地域別方針」など、より具体的な内容を記載しています。興味がある方はぜひ、7ページ目に掲載しているQRコードからご覧ください！

7ページをご確認ください！

5 地域力を生かした都市づくり

これからの都市には、地域住民の皆様をはじめ事業者など、様々な主体による、世代を超えた地域づくりが求められます。皆さんもまずは興味があることやできることから、地域づくり・都市づくりに参加してみませんか。

参加してみよう！大田区の地域づくり・都市づくり

1

身近なまちづくり活動や地域行事

まずは身近なところから！

地域では様々な活動や行事が行われています。まずは身近なところから、防災訓練や地域のお祭り、お散歩しながらまちを観察することも地域づくりの第一歩です！



防災訓練



景観づくり活動



地域のお祭り



地域防犯パトロール

2

地域のまちづくり活動

お住まいの地域の活動をチェック！

一部の地域では、防災まちづくりを推進することを目的に、地域の課題を解決するために必要な取り組みやルールの検討など、住民主体で様々な活動を進めています。



例：羽田の防災まちづくりの会



例：大森八景坂まちづくり協議会



3

事前復興まちづくりに向けた活動

新たに地域とともに取り組みます！

大田区では今後、大規模災害の発生を想定し、災害からの復興に向けた取組みを事前準備する「事前復興まちづくり」に、地区住民・地縁組織・事業者の皆さんと協働で取り組んいきます。



(写真提供：葛飾区)

例：地域の事前復興まちづくり活動



例：復興まちづくりの計画

大田区の都市づくりについてもっと詳しく知りたい方はこちらから

QRコード

<発行> 大田区まちづくり推進部都市計画課 計画調整担当
144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
TEL 03-5744-1333 FAX 03-5744-1530